

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－24

学校名・団体名	福島市立三河台小学校
HPアドレス	<a href="http://www.fukushima.gr.fks.ed.jp/?page_id=330">http://www.fukushima.gr.fks.ed.jp/?page_id=330</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	「音楽を響かせ 地域を元気に 2015」
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>① 本校児童や保護者・地域の方々・避難されているの方々など、聴く人に感動と元気、生きる活力を与えることができるような音楽を創造していく。</p> <p>② 心を一つにしてよりよい演奏を共に創り上げる楽しさを分かち合いながら、協調性・思いやりなどの心を育むことができる子どもの育成を目指す。</p>	

## 【福島市立三河台小学校吹奏楽部今年度の活動報告】

本校では、校内にとどまらず地域にも目を向け、多くの場面で音楽を披露し、共に音楽のすはらしさを共有してきた。中には涙を流して感動してくださる方、感謝しながら帰っていかれる方もおり、逆に演奏する側が勇気づけられることも多いのが事実である。そうした活動の一部を紹介したい。

### ① 福島駅前での演奏会にて

演奏会では、子どもたちが選んだお馴染みの曲目を演奏した。当日は生憎の雨で、カッパを着用してのテントの中での披露となってしまうが、多くのお客さんが来て下さり、手拍子をして参加してくださるなど、共に楽しいひと時を過ごすことができた。初めてのイベント企画であったが、多くの方から来年度もぜひ見たいとの要望がたくさん寄せられており、手応えを感じた。



### ② 地区内中学校(岳陽中学校)との合同演奏会にて

毎年恒例になっている合同演奏会では、コンクール曲である「ひまわり、15本」そして観客の方にも喜んでいただこうと、「ディズニーメドレー」を演奏した。雰囲気を出するためにゴッホのヒマワリの絵を飾ったり、動きを入れた演出を施したりと、子どもたちと話し合いながらステージを築き上げていった。今年は、前年度より多くの方々が暑中訪れてくださり、大いに盛り上がった。アンケートの中には、「小学校の評判を聞いてやってきました。まさかこれほど素晴らしいとは……。小学生とは思えないほどの素晴らしい演奏で、びっくりしました。これからも福島の子どもたちがこんなに頑張っていることをたくさんの方々に発信して行ってくださいね。応援していますよ。」といった励ましの言葉も入っており、部員全員が大きな自信と勇気をいただいた。今後の活動に大きな弾みをもたらしてくれた。



### ③ 三河台地区文化祭演奏会にて

日頃お世話になっている地域の方々の前での演奏の機会をいただいた。いろいろな場所で今年度の子どもたちの活躍を耳にしている方が多く、かえって子どもたちは緊張している感じであったが、心を込めて演奏していた。曲の選定でも、50代以上の方々を対象とした曲「ピンクレディメドレー」をダンスも盛り込みながら演奏した。大反響だった。一人暮らしのお年寄りの方も多かったと聞く。最後の「ふるさと」の演奏では、涙して一緒に歌を口ずさんでいる方もおり、楽しいひと時を過ごして下さったと信じたい。



### ④ 子どもの夢を育む「こむこむ館」主催「こむこむコンサート」にて

各種コンクール等でよい成績を収め、選抜された学校のみがコンサートを開催できるという福島市内の小中学生にとっては憧れのコンサートである。今年度も声がかかり、1時間程度のコンサートを行った。こむこむ館で毎月作成し、市内に配付しているチラシにも大きく取り上げられるため、予想以上の多くのお客さんがいらっしゃる。中学生のOBも駆けつけ、毎年賑やかな催しの一つとなっている。アンサンブル曲も含め、計17曲を演奏した。司会進行も子どもたちが行い、会を盛り上げた。



### ⑤ 全国大会最優秀賞受賞記念演奏会及び六年生引退コンサートについて

第21回日本管楽合奏コンテストで最優秀賞を受賞したことを地域の方々に報告するための演奏会を3月13日に予定している。これまで頑張ってくれた6年生の引退を兼ねているため、最後の務めと、6年児童が実行委員として、企画運営を行っている。これまでお世話になってきた地域の方々、そして避難していらっしゃる方々にも手作りちらしを配付、地域の新聞や情報誌でのPR記事の掲載など、積極的に宣伝し、多くの方々に来場していただけるよう、働きかけているところである。また、これまで指導して下さった多くの講師の先生方との合同演奏もあるため、内容の濃いプログラムとなっている。ぜひ成功させたい。

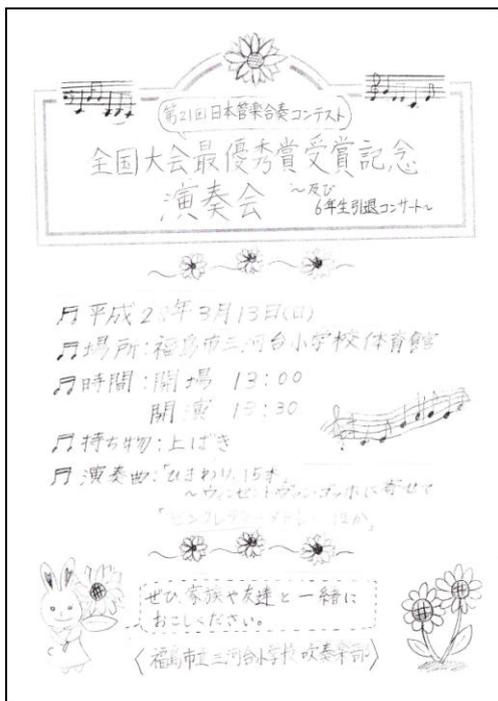
【総括】

今年度は、コンクール関係でも、これまでにないくらいのよい成績を取ることができた。県吹奏楽コンクールでの金賞受賞、アンサンブルコンテスト東北大会金賞受賞、県小・中学校音楽祭(第二部合奏)での金賞受賞、第21回日本管楽合奏コンクールでの最優秀賞受賞と、さまざまなコンクールで活躍することができたのも、多くの方々からのかげながらの応援があつてのことと、深く感謝している。きっと今回のこうした活動の積み重ねが、人のために演奏する楽しさ、充実感を味わう一つの契機となり、より豊かな表現力をもたらし、こうした成績にもつながっていったと考えられる。こうした地域に貢献する体験は、豊かな心を育むためには欠かせない活動であることを再確認させられた。

子どもたちも音楽がますます好きになり、熱き思いを持って地道に活動を続けているが、教員の指導力不足、楽器の老朽化が大きな課題となっていて、日々頭を悩ませていたのが実情である。今回ちゅうでん教育振興助成をいただくことができたことで、こうした課題が少しずつ解消し、子どもたちの夢をかなえる一助となったこと、深く感謝したい。そして、これからも、地域の方々にも更なる元気を与えられるよう、日々感謝の心を忘れず、みんなで頑張っていきたい。



<コンサートの予告記事>



<コンサートの広告>



<地域の情報誌掲載記事>